

かわら版

最上小国川流水型ダム

平成27年6月号

創刊号

平成27年6月27日発行

【発行元：前田・飛島・大場JV】

ごあいさつ

はじめまして。最上小国川流水型ダム堤体工事を施工しております、前田・飛島・大場特定建設工事共同企業体と申します。前田建設工業、飛島建設と大場組の、3社による共同企業体(JV:Joint Ventureの略称)です。

平成27年5月より準備工事が始まり、約1ヶ月が経過しました。ここであらためて、当工事についての内容や、仕事の状況、今後の予定等をお知らせすべく、この「かわら版 最上小国川流水型ダム」を年に数回、発行することと致しました。

安全・環境・品質を優先すると共に、皆様方の信頼を得られるような工事を進めていく所存です。この「かわら版 最上小国川流水型ダム」が、その信頼を得られる一つとなれば幸いです。

今後とも、よろしくお願い致します。

最上小国川流水型ダムの場所

最上小国川流水型ダムは、最上郡最上町大字富沢地内にあります。国道47号線からだと明神橋交差点より赤倉温泉方面へ県道28号尾花沢最上線に入り、赤倉地区から県道262号最上小野田線を通り、その沿線に位置します。



最上小国川流水型ダム



6月までの出来事



写真:玉串奉奠の状況

安全祈願祭

4月27日には、神様に工事全体の安全を祈願する、安全祈願祭を執り行いました。赤倉温泉町内会からも、町内会長様を初めとするダム建設促進期成同盟会の方々にも多数ご出席頂き、ともに安全を祈願して頂きました。有り難うございました。

平成31年3月までの工期の間、無事故無災害を目標に頑張っていきます。

稚鮎放流

6月6日には、7月からのアユ釣り解禁に向けての稚鮎放流をして頂きました。天候が悪いなかでしたが小国川漁協組合長様を初め、組合赤倉支部の方々にもご協力頂き、近隣小学生に稚鮎の放流をして頂きました。有り難うございました。

来年、再来年と続けて参ります。今回は、ご連絡が不行き届きでしたこと、お詫び致します。

次回も多数のご参加を頂きますようお願い致します。



放流の様子

参加してくれた小学生ほか雨がしょぼしょぼする中、ありがとうございます。

JV職員紹介



氏名:桑野 陵一(クワノ リョウイチ)

役職:作業所長(現場代理人)(前田建設工業(株))

出身地:北海道 現住所:長野県

ダム現場は8箇所目です。単身赴任の為、週末は温泉街を歩いていることが多いです。(特に夕方から夜中にかけて)今後とも宜しくお願いします。

発注者:山形県最上総合支庁
施工者:前田・飛島・大場特定建設工事
共同企業体
連絡先:〒999-6212
(仮事務所)山形県最上郡最上町大字
志茂265-2
TEL 0233-44-9230
FAX 0233-44-9231

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。